

令和6年度第6回甘木駅周辺整備基本構想策定会議  
議事要旨

日時：令和7年1月7日（金）15：00～16：20  
場所：ピーポート甘木第7学習室  
出席者：別紙名簿のとおり

### 1. 開会

これまで整備方針についてご議論頂き、出された意見を踏まえて基本構想（案）として作成した。本日は、この基本構想（案）について忌憚ないご意見をお願いします。

### 2. 会長あいさつ

（会長）

本日は、これまで皆さんと議論してきた内容を踏まえて、事務局がとりまとめた基本構想（案）について説明をして頂きます。

### 3. これまでのふりかえり

・資料1, 2-1及び2-2に基づいて事務局より説明を行なった。

（委員A）甘木駅の待合室で何かできないか、待合機能を損なうことなく居心地のよい場所にするには何があったらよいかなど活用検討部会でも考えてみたいが、実際に活用することは可能か？

→（事務局）利用者の利用が妨げられないようにするのは重要だが、甘鉄利用者も快適に過ごすことができるような活用ができると良いと思う。

（委員B）待合室としての機能は確保しなければならない。しかし、これまでも写真展や絵画展などは実施したことがある。人をたくさん押し込んだイベントっていうのはなかなか難しいのかと思うが、この空間を利用した活用、そういうことはできるのではないかと思っている。待合室利用者の妨げになるような大勢の人が集まるようなことは出来ない。

（委員C）フェスの名称がASAKURAではなく ASAKARAにした意味は？

→（事務局）仮称であるが、朝倉「から」いろいろな活動や情報を発信していくという意味でASAKARAとしている。モーニングの意味ではない。

#### 4-①. 甘木駅周辺整備基本構想（案）について

・資料3に基づいてアドバイザーチームより説明を行なった。

（委員長）これまでの議論を踏まえてわかりやすくまとめられていると思う。特にイメージパースが出てくると期待がもてる。

（委員D）シェルターが一つの目印になると感じた。このひろばの特徴的なものとして認知されると良いと思う。今回の案では、甘鉄駅舎前が前回の案よりもロータリーが駅舎に近づいているようにみえるが、何か近づけた意図はあるのか。

→（事務局）特に近づけようとしたわけではないが、前回直線的なロータリーから今回はシェルターの緩やかな曲線に合わせてバスのりば等をレイアウト仕直したため、若干歩道が広くなったり、狭くなったりしている部分がある。

（委員B）質問というより要望として、障がい者の利用について当事者の意見をきく場を設けて欲しい。また、駐車場について調査結果から鉄道利用者以外の利用が多いということであったため、現在2か所ある駐車場を1か所だけにしても大丈夫ということであったが、実際に鉄道利用者以外の利用をどのように制限するのか。また、これらの利用者の対応をどう考えるのか。利用料金によってという話もあったが、甘鉄は無料駐車場が一つの売りになっているので、有料となって鉄道利用者が減ったり、無料駐車場のある他駅を利用したりすることになると甘鉄の収益も減となるので、イベント時の駐車場不足も含めて駐車場の対策についてはしっかり検討していただきたい。

→（アドバイザー）調査結果では、現在2か所の最大駐車台数でも既存の甘鉄側の駐車場の容量で足りる結果となっているので、鉄道利用者以外の利用が無くならないと容量不足になるということではない。また、イベント時についても社会実験で行ったマルシェの際には、西鉄側の駐車場の利用を制限して実施しているが、甘鉄側の駐車場だけでも特に大きな問題は生じていないことから容量的には問題はないと考えている。

→（事務局）障がい者意見の反映については、整備方針の1つ目に記載させていただいているとおり、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを推進するとしているので、今後の検討で当事者意見の反映も行っていく。

（委員E）シェルターで大きくつなぐイメージ図になっているが、ここまで大きく繋ぐイメージを出して大丈夫かどうか。実際には駐車場への道路上は高さの問題もあるので繋げられないのではないか。また、イメージ図ではバスのりばの前方あたりでシェルターに段差があるようにみえるが、これは描き方のミスなのか。

→（アドバイザー）イメージ図のバスのりば前方の段差は、あえて設けている。前半のご指摘の回答にもなるが、駐車場への道路上で車道の建築限界4.5mの高さを確保すること

を考えている。道路上だけ4.5mに高くすることも考えられるが、今回示したイメージ図では、ご指摘のあったバスのりば前方の段差から西鉄側のシェルターは、車道上にも架けられる4.5mの高さにして、バスやタクシーの乗降時にも雨に濡れないようなのりばにするイメージとしている。シェルター整備費用が大きくなるため実現できるかどうかの課題はあると思う。

(委員F) 賑わい施設の導入機能は、現在甘鉄駅舎にある観光協会を踏まえて、機能配置を考える必要あると思う。将来的にはシェアサイクルの配置なども含めて、住んでいる人にとっても来訪者にとっても使いやすい施設、機能が配置できると良いと思う。

→(アドバイザー) 賑わい施設の導入機能は、既存の観光協会や交流広場の利活用などと合わせてしっかり考える必要があると思う。ご指摘の内容は、今後の検討課題とさせていただきます。

(委員A) 現在のロータリーにはバタバタのモニュメントがあるが、新しい駅前でも駅から降りた時に朝倉に来たワクワク感を演出できると良いと思う。今回のイメージ図もきれいな駅前になると期待はできるが、他の場所でもありそうなきれいな駅前といった感想。これに朝倉らしさや朝倉の良いところを足していけるとさらに良くなると思う。

→(事務局) 朝倉らしさを表現することは大事なことだと考えている。整備方針にも市民や来訪者に愛される、朝倉らしいデザイン性の高い空間を目指すとしており、来年度以降基本計画で取り組む。

(会長) 最後に感想になるが、甘鉄を出た左側の広場など、大きなイベント広場だけではなく、小さな規模の交流が生まれる広場もあるとさらに良くなると思った。本日皆さんから頂いたご意見は、今後の基本計画、設計段階で反映させていくことになると思うが、基本構想としては、今回事務局から提示された基本構想(案)を大きく修正するような指摘は無かったと思うが、これを基本構想としてよいか。

→全員異議なし。

(会長) 本日事務局より提示された基本構想(案)の案を取ってとりまとめたものを、3月に代表して私から市長に提出させて頂くということでよいか。

→全員異議なし。

#### 4-②. 今後のスケジュール(想定)について

・資料4に基づいて事務局より説明を行なった。

→スケジュールについて特に意見出されなかった

## 5. その他

本日、お示しした基本構想（案）について、案を取って基本構想とすることが了承されました。策定会議会則では、委員の任期は基本構想の策定が完了するまでとしておりますので、本会議は本日をもって解散となります。有難うございました。

## 7. 閉会

（会長）これまで皆さんから頂いた意見をもとに構想として取りまとめることができました。この構想を計画、設計へとしっかり繋いでいかなければならない。そうしないとこの構想も絵に描いた餅となり、この2年間の皆さんの努力が無駄になってしまう。この構想をしっかり次の段階に繋いで実現できるようにしてください。

（閉会の挨拶）

これまで策定会議、基本コンセプト検討部会、交通専門部会など、延べ約450人に関わって頂いた。まだまだ未定なところも多いが、実現に向けてしっかり取り組んでいきます。これからが本当のスタートです。来年度はまちづくり学校も開催して、引き続き利活用についても取り組んでいきますので、今後ともよろしく願いいたします。

2年間ありがとうございました。

これをもちまして策定会議を終了させていただきます。

以上。